

第87期 第2四半期 株主報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144

株主の皆様へ・To Our Shareholders



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
また、この度の相次ぐ自然災害により被災された皆様には、
心よりのお見舞いと1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社グループの第87期第2四半期連結累計期間
(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の決算が終了
いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2019年12月

取締役社長 宮地敬一郎

Keishiro Miyaji

「危機感」と「決断」と「スピード」を念頭に

Q 当第2四半期の取り組みについて教えてください。

A 受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、
コストダウンと経費節減に注力しました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、
企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな
回復基調が続いてきたものの、米国と中国の経済摩擦
による中国経済の低迷など海外経済の不確実性は高まり、
また国内においては大規模災害や消費増税の影響など
先行きは不透明な状況となっております。

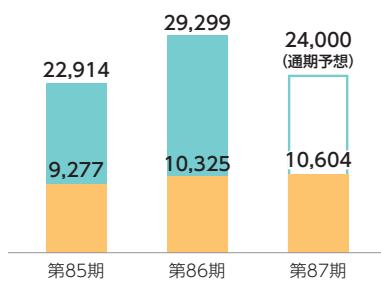
このような情勢の中で、当社グループといたしましては、
前連結会計年度からスタートした中期経営計画「チャ
レンジ240」を達成すべく活動しております。どのような環
境下にあっても「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念
頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡
大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してま
いりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は、産業

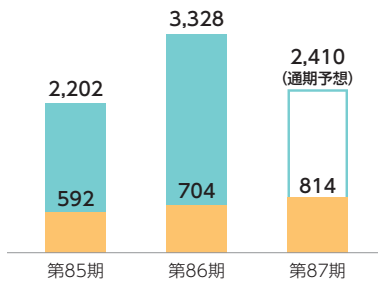
業績ハイライト・Financial Highlights

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円・%)

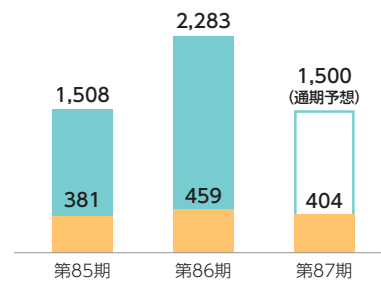
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



おき、中期経営計画「チャレンジ240」の達成に向けて全社を挙げて努力してまいります。

機械事業は増加したものの、搬送機械事業ならびに精密機械事業が減少したため、112億4千万円(前年同期比27.4%減)となりました。売上高は、精密機械事業が減少したものの、搬送機械事業ならびに産業機械事業は増加して106億4百万円(前年同期比2.7%増)となりました。損益においてはコストダウンと経費節減に当社グループ一丸となって注力した結果、経常利益は8億1千4百万円(前年同期比15.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の評価損を計上したことにより4億4百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

Q 通期に向けてはいかがでしょうか？

A 経済環境の変化を捉え、チャレンジ精神で新市場に果敢に挑戦してまいります。

当社グループといたしましては、経済環境の変化を捉え、チャレンジ精神で新市場に果敢に挑戦し、市場競争を勝ち抜く所存であります。さらには、コストダウンや経費の

削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高240億円、経常利益24億1千万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を計画しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

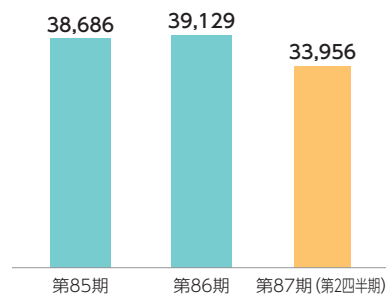
A 当第2四半期末の配当金は、1株当たり12.5円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

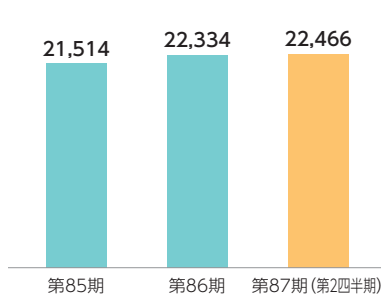
当第2四半期末の配当金につきましては、1株当たり12.5円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

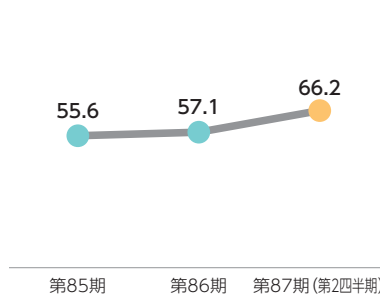
総資産



純資産

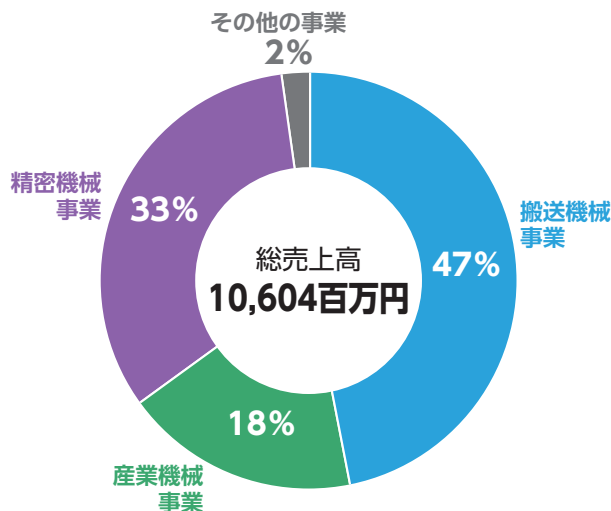


自己資本比率

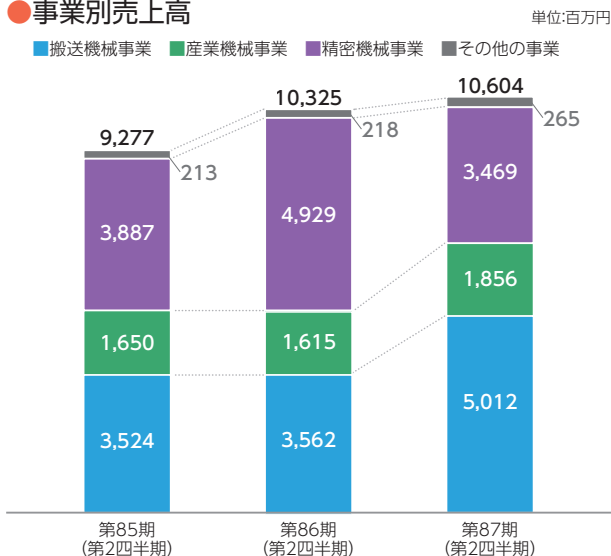


主要な事業別営業の概況 *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **5,012百万円** (前年同期比40.7%増)

搬送機械事業では、大口顧客・既存顧客のシェアアップに注力したことによるリピート受注や製造業の生産・物流分野などに最適なソリューション提案を行い、さらにはサービス・メンテナンス分野にも注力しましたが、受注高は設備投資の減速、大口物件の減少などが影響して44億5千3百万円(前年同期比42.3%減)となりましたものの、売上高は、大口物件の売上があり50億1千2百万円(前年同期比40.7%増)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン



TOPICS 大手ポンプメーカーからのFMS受注



IoTやAIの広がりであらゆるものに半導体が使われるようになり、半導体製造装置市場は拡大傾向にあります。また、半導体製造現場では欠かせないドライ真空ポンプの需要も伸びており、工場の生産能力の増強が求められています。

そのようなニーズから、マテハン事業部では、大手ポンプメーカー様に24時間無人運転を可能にするDIOシステム(FMS)5セットを採用いただきました。今後、M社製マシニングセンターとの対応拡大や強化にもつなげてまいります。

将来的には、ロボットによる前段取りの自動化が計画されております。稼動状況管理と効率的加工を可能にした最新システムを納入し、お客様の生産効率アップ・自動化・省人化を実現してまいります。

産業機械事業

売上高 **1,856**百万円 (前年同期比14.9%増)

産業機械事業では、民需へのアプローチが成果を上げ、さらには官需についても順調であったため、ゲート駆動装置の受注が好調に推移して受注高は29億6千8百万円(前年同期比13.4%増)、売上高は18億5千6百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置



TOPICS タイ大型受注獲得(PWA) Semflex-VM01+Modbus (52台)

産業機械事業部では、約5年前から海外営業展開の一環として、現地代理店と連携してタイ市場の拡販に注力してまいりました。その結果、今回エンドユーザのPWA(タイ地方水道公社)から高機能タイプVM-01を52台受注することができました。



この大型受注に成功した要因としては、第一に、代理店とタイアップしてエンジニアリング会社やエンドユーザ(PWA)に粘り強く深耕営業やトップセールスを展開したことです。

第二に、ソリューション型営業(課題解決型)に徹し、顧客ニーズである通信ユニット(Modbus)をスピーディに開発したことにより、「技術力の西部」を評価いただいたことです。

今後はタイでの現地生産計画との相乗効果でさらなる拡販を進めてまいります。また、今回受注の波及効果としてMWA(首都圏水道公社)からも大型引合いをいただき、タイ代理店の士気も上がっており、今後のさらなる拡販に期待が持てます。

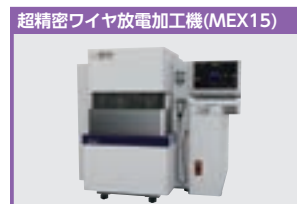
精密機械事業

売上高 **3,469**百万円 (前年同期比29.6%減)

精密機械事業では、国内は地域密着型営業を展開し、新規顧客の開拓に努めましたが、主に中国向けワイヤ放電加工機の商談が減少して、受注高は35億5千1百万円(前年同期比28.4%減)、売上高は34億6千9百万円(前年同期比29.6%減)となりました。

主要商品

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 高精度小形NC旋盤
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 正面旋盤



TOPICS SFG-35の操作性・機能性向上とMM75Bの真直精度向上

精密機械事業では、操作性・機能性を大幅に向上させたSmartNCの開発を完了させ、従来のSFG-35シリーズに搭載した1号機を9月に納入いたしました。

SmartNCでは、マルチタッチ対応の21.5インチのディスプレイを搭載し、対話式によるプログラムの作成が可能となりました。また、リアルタイムで形状が描画されるため、プログラムチェックが容易となりました。

ワイヤ放電加工機では、M75Bの構造を一部見直したことにより、今まで不可能であった箇所「きさげ」が可能となりました。これにより、X・Y軸それぞれの真直精度をさらに向上することができ、ピッチ加工精度±1μmを達成しました。

今後もさらなる市場の高精度要求に対し、着実に対応してまいります。



SmartNC

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第86期 2019年3月31日	第87期第2四半期 2019年9月30日
資産の部		
流動資産	24,100	19,109
固定資産	15,028	14,846
有形固定資産	10,103	10,002
無形固定資産	24	24
投資その他の資産	4,900	4,820
資産合計	39,129	33,956
負債の部		
流動負債	13,146	7,885
固定負債	3,648	3,604
負債合計	16,794	11,490
純資産の部		
株主資本	17,069	17,094
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	11,798	11,824
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	5,265	5,371
純資産合計	22,334	22,466
負債純資産合計	39,129	33,956

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第86期第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	第87期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	10,325	10,604
売上原価	7,396	7,816
売上総利益	2,929	2,787
販売費及び一般管理費	2,268	2,030
営業利益	660	756
営業外収益	54	64
営業外費用	10	5
経常利益	704	814
特別損失	0	128
税金等調整前四半期純利益	703	685
法人税、住民税及び事業税	263	125
法人税等調整額	△18	156
四半期純利益	459	404
親会社株主に帰属する四半期純利益	459	404

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第86期第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	第87期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,546	△1,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー	△901	△388
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	180	△2,489
現金及び現金同等物の期首残高	11,194	10,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,374	7,948

2019年9月30日現在

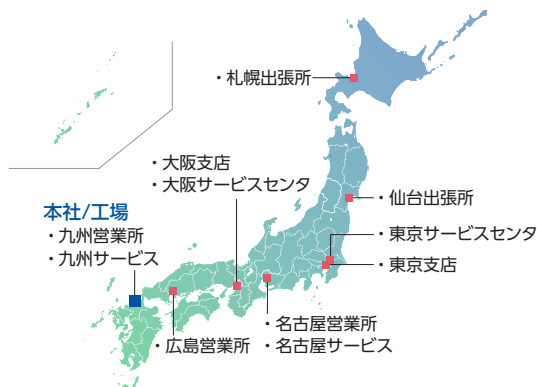
会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	472名(連結524名)

役員

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	3,135名

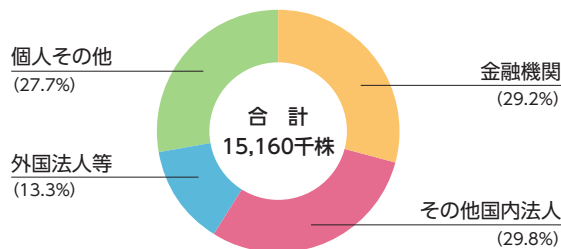
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,506	9.9
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,338	8.8
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
MSIP CLIENT SECURITIES	587	3.8
西部電機従業員持株会	415	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,300株)を控除して計算しております。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2017年8月24日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2017年8月17日現在同社が3,303,900株(保有割合21.79%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。